

私の高校では、沖縄県が行っている、修学旅行の事前・事後学習支援のアドバイザー派遣事業を申し込みました。コロナの感染状況次第では、中止になるかもしれない修学旅行でしたが、費用は沖縄県が負担してくれるということもあり、お願いすることにしました。アドバイザーとして様々な方が登録されており、ほかの教員とも相談しましたが、三線を教えており、さらに、学校まで来ることのできる可能性の高い宮里さんをお願いすることにしました。

講演では、沖縄の歴史・文化や沖縄戦について・沖縄方言(うちなーぐち)・琉球音階など、様々な内容について、わかりやすくお話していただきました。後半は、三線のミニライブで、心にしみる演奏をしていただきました。そして、生徒を壇上にあげて、太鼓(パーランクー)や三板(さんば)の体験を行いました。カチャーシーは生徒たちは恥ずかしがりながらも踊り、講演のフィナーレとなりました。

生徒たちにはとても刺激になったようで、その後、教室や廊下でうちなーぐちが飛び交い、修学旅行に向けて沖縄のことをもっと知りたいという気持ちが高まっています。

残念だったのは、今回の講演を50分の授業時間内に設定してしまったことです。一緒に見ていた学年の教員ももっと時間があるとよかったね、と残念がっています。二コマの講演もしていただけるとのことなので、次に来ていただくときには時間設定を見直そうと思います。

他の学校の先生にも教えようかと思いましたが、宮里さんが忙しくなるとうちの学校に来ていただけなくなるのではないかと心配しています…あまり人に教えたくないです(笑)

なお、私自身が沖縄出身で、本土に来て長いのですが、講演の前に私の祖父の形見の三線を見ていただいて(私自身は弾けません)、メンテナンスしていただきました。その際、個別レッスンまでしていただいて、感謝の思いでいっぱいです。宮里さんのファンになって本も買ってしまいました!YOUTUBE見て三線を練習します!!